「研究」こんなできました!

実験・観察・考査…失敗、再挑戦、そして完成へ

1組 ドラム缶とレンガで本格ピザ窯作り

田中 祐利くん　辻 健介くん　辻川 将吾くん　戸島 瑞揮くん
中西 桐麻くん　中町 龍哉くん　西岡 圭介くん　野田 健太くん

高校最後の文化祭を控え、文化祭で使えるものを作りたいと考えた辻くんら8人。話し合いの結果、クラス模擬店でピザを焼こう!ということになり、ピザ窯本体の製作に乗り出した。土台は2種類。ドラム缶をベースに作る班とレンガをベースに作る班に分け、それぞれ部品を調達した。

ドラム缶の班は、ドラム缶をサンダー(研磨工具)やジグソー(電動鋸)という工作機械で切断して、ピザ窯の形にしていった。途中、ドリルの刃が折れてしまったが、切り出した部品と溶接で止め、完成にこぎつけた。

レンガの班は、レンガと耐火セメントを交互に乗せて積んでいき、形を作った。途中、耐火セメントの量が不足したり、上手くくっつかなかったりと色々苦労があった。

ドラム缶、レンガのどちらにも煙突をつけ、煙が逃げやすいようにした。こうして仕上がった2種類のピザ釜は、文化祭当日に大活躍。高火力のピザ窯で実においしく焼けました!!

レンガのピザ窯

↑ドラム缶のピザ窯

↓文化祭の模擬店

この研究を通して感じたことは製作時間が思ったよりも短かったということ。後輩たちよ。「何を作るか今から決めておいたほうが良い。早めの計画を」

(純)

2組 なんちゃってバイク

佐々木 友哉くん　定平 幸斗くん
寺田 稔己くん　中島 健留くん
鈴木 麗史くん　佐藤 志洋くん

研究当初は、キックボードにエンジンを取り付けて走行させようとしたが、エンジンの動力を伝えることが難しかったため、自転車にエンジンを搭載した「なんちゃってバイク」を製作した。

材料は、草刈り鎌のエンジンと子ども用自転車だ。エンジンの動力軸をタイヤにフィットさせ、エンジンを固定する台をアルミ板で製作した。ちょうどよいサイズがなかったため、2枚の板を接合するのに苦労した。最終的にL字型の金属を用いて接合したのだが、こんな方法もあるのかと勉強になった。

また板材を素早く切断することが可能なスケヤシャーリングや、ボルトを通す穴を開けるためのボール盤など、様々な加工機械を利用した。

穴開けの作業時、板材が想定よりも大きく万力の挟む部分に入らないため、作業が中断したことも。担当の先生の助けを借りて、なんとか挟み込み、無事完成に至った。

製作中、エンジンの動力軸が歪み、一度オーバーホール(分解)もした。軸を安定させて動力を上手くタイヤに伝えることに成功。調整を重ねて、ついに校内をぶんぶん走らせることが出来た時は、6人全員で喜びをかみ締めた。

後輩には「大変でも、時間をかけて自分たちが納得出来るものを作って」とエールを送った。

(木)

↑完成したなんちゃってバイク

3年間での資格取得一覧

一人当たり4個 すごい!

		1年	2年	3年	合計
計算技術検定	4級	218			218
	3級		31	3	34
	2級		1	1	2
情報技術検定	3級	154			154
	2級	9	12		21
	1級		2		2
パソコン利用技術検定	3級	15	3	6	24
	2級		1	2	3
危険物取扱者	丙種	53	13	4	70
	乙種第1類	1	3	2	6
	乙種第2類			1	1
	乙種第3類		2		2
	乙種第4類	8	7	4	19
	乙種第5類		2	1	3
	乙種第6類	1	2	1	4
	甲種			1	1
電気工事士	第二種	3	38	8	49
	第一種		1	1	2
実用英語技能検定	4級	1			1
	3級	5	2	4	11
	準2級			3	3
日本漢字能力検定	3級	5			5
	準2級	1	2	3	6
	2級		1		1
初級CAD検定				2	2
製図検定	基礎		17		17
	機械			7	7
トレース技能検定	4級	79			79
	3級		1		1
技能士三級	機械検査	3	33	3	39
	機械保全		1	12	13
	旋盤作業		2	3	5
	電子機器組立			2	2
技能士二級	旋盤作業			2	2
ボイラー技士	2級 8月			1	1
技能講習	ガス溶接			85	85
	フォークリフト運転			4	4
	小型車両系建設機械運転			14	14
	ボイラー取扱		10		10
情報処理技術者試験	ITパスポート			2	2
無線技士	3級陸上特殊			22	22
玉掛け				2	2
小型移動式クレーン				1	1
色彩検定	3級		3	1	4
	合計				954

団結した最高の日

三年五組　池内 胤

一年生前期で種目である「棒引き」では勝ち進むにつれて、みんなの団結が強くなり、応援者も含めて団が一体となることが実感できました。この種目で一位となった時、全員で喜びをかみしめ、感動しました。そして、その勢いのまま綱引き、団リレー等の種目で上位に入賞し、最終的には「総合優勝」を勝ち取ることが出来ました。この日はクラスが団結できた最高の日となりました。これまでで一番良い思い出を作ることが出来た八幡工業高校に感謝したいです。

三年間、ありがとうございました。

どんなときでも明るく元気

三年六組　谷田 貴弘
谷　匠馬

ミックスから選択のクラスに変わった時は、このメンバーと上手くやっていけるかと、不安が押し寄せてきましたが、今ではそう思っていたことが嘘のようです。

六組は、どんなときでも明るく、元気なクラスです。授業中でも先生に怒られるぐらい元気です。体育祭や文化祭では、リーダーとして明るく楽しく引っ張って行ってくれる人がいたり、縁の下の力持ちをしてくれる人がいたり、皆で協力ができるクラスでした。ぶつかり合いもありましたが、そのお陰で賞を取ることもできたのだと思います。体育の授業などでは、六組がいちばん場を盛り上げたり、楽しい雰囲気になっていました。先生も「六組で授業するの面白い」と言ってくださったこともありました。

担任の浅居先生は、僕たちに、時には優しく、時には厳しく接してくださいました。どんな時でもクラスのことを考えてくれる先生です。明るいクラスに、クラス思いの先生。こんなに恵まれた環境で、毎日授業を受けられたことは、とても良かったと思います。

あっという間に卒業です。環境化学科で学んだことと、八工でできた大切な経験を、社会人・大学生・専門学校生になっても忘れず、生活していきたいと思います。今までありがとうございました。

一人ひとりが素晴らしい

三年七組　仲井 崇馬

七組は個性豊かなクラスで、とてもおもしろいクラス。席の前方は、授業中は静かだけれど、後方はかなり盛り上がっていることもありました。

三年の終わり頃になると、8時45分のSHRに間に合わない人が決まって二人いました。時間割ではSHRの開始は50分からで、正確には遅刻にならないけど、45分には席についてSHRが始まるので、みんなはめちゃくちゃ言っていました。けれど、その二人はなかなか直さなかった。今となっては、これも面白かったし良い思い出です。

また、さすが七組だけあって成績は高く、欠点を取る人はいませんでした。体育祭では、団長だった私が団をまとめるのに苦労していた時に、副団長やパフォーマンス係の人に支えてもらいました。本当に感謝しかないです。そのおかげで、楽しい体育祭になりました。

七組は、一人ひとりが良いものを持っていると思います。面白い人、優しい人、リーダーシップのある人などです。最初は静かだった七組も、今ではとても明るいクラスです。楽しかったことや、嫌なこともすべてが忘れられない思い出です。クラスののみんな、先生方、保護者の方々、全ての人にありがとうございました。